

食育の推進に関するアンケート調査結果

保健医療課

1 調査目的

県では、すべての県民の皆さんが心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと豊かに暮らすことができるよう「食育」の推進に取り組んでいます。そこで、県民の皆さんの食に関する意識や現状を把握し、第2次岐阜県食育推進基本計画(計画期間:平成24年度～28年度)の中間評価の参考とさせていただくため、調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象: 県政モニター485人(うちインターネットモニター263人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 平成27年6月下旬から7月上旬

回収結果: 440人(回答率90.7%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○ 食行動

- ・「ほとんど毎日朝食を食べる」は91.1%、「ほとんど食べない」は3.2%となった。
- ・「週4～5日以上家族と一緒に食事をする」は、朝食62.1%、夕食73.2%となった。
- ・「よく噛んで味わって食べている」は70.7%、「食べていない」は19.5%となった。

○ 食生活に関する意識

- ・自分の身体のために何をどれくらい食べると良いかについて「よく知っている」「だいたい知っている」をあわせて72.3%となった。
- ・今後の食生活で力を入れたいことについて、「栄養バランスのとれた食事の実践」が88.6%と最も高く、次いで「食品の安全性への理解」が60.5%、「規則正しい食生活リズムの実践」が58.7%となった。

○ 食育の認知度と県の取り組み

- ・食育について、「内容も含め知っている」は47.0%となった。
- ・今後、県の取り組みとして期待する内容について、「栄養バランスに対する正しい理解の普及」が62.0%と最も高く、次いで「食品の安全性に関する知識の普及」が48.7%、「食習慣に関する正しい理解の普及」が46.7%となった。

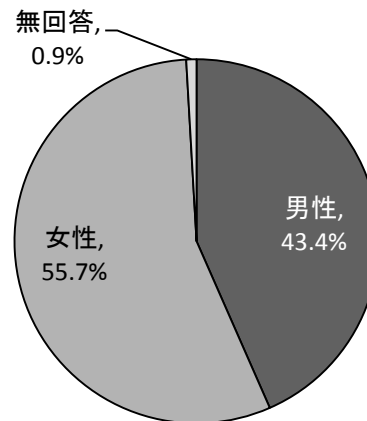
○ 栄養成分表示

- ・「飲食店等で栄養成分表示を見たことがある」は88.0%で、「栄養成分表示をいつもにしてメニューを選ぶ」は20.4%となった。

4 回答者属性

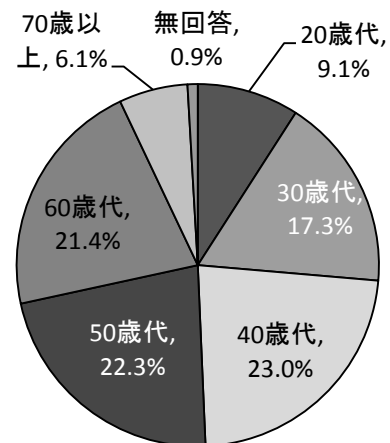
(1) 性別

	人数	割合
男性	191	43.4%
女性	245	55.7%
無回答	4	0.9%
計	440	100.0%



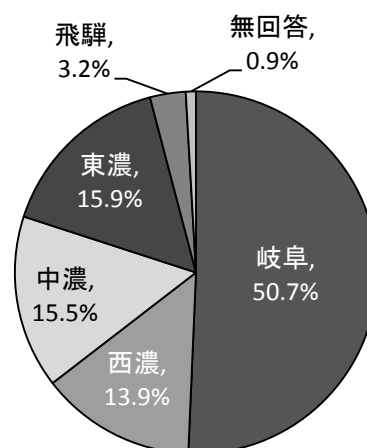
(2) 年代別

	人数	割合
20歳代	40	9.1%
30歳代	76	17.3%
40歳代	101	23.0%
50歳代	98	22.3%
60歳代	94	21.4%
70歳以上	27	6.1%
無回答	4	0.9%
計	440	100.0%



(3) 居住圏域別

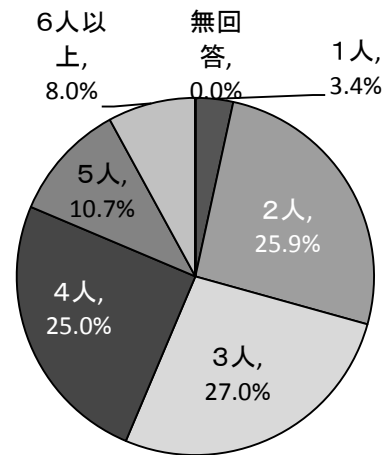
	人数	割合
岐阜圏域	223	50.7%
西濃圏域	61	13.9%
中濃圏域	68	15.5%
東濃圏域	70	15.9%
飛騨圏域	14	3.2%
無回答	4	0.9%
計	440	100.0%



5 調査結果

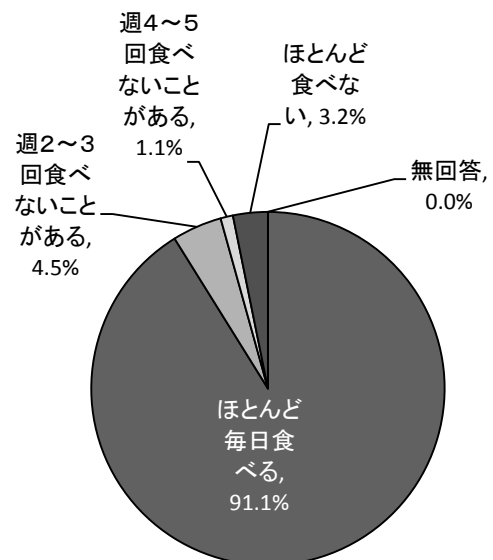
問1 あなたと同居している方は、あなたを含めて何人ですか。

	人数	割合
1人(自分自身のみ)	15	3.4%
2人	114	25.9%
3人	119	27.0%
4人	110	25.0%
5人	47	10.7%
6人以上	35	8.0%
無回答	0	0.0%
計	440	100.0%



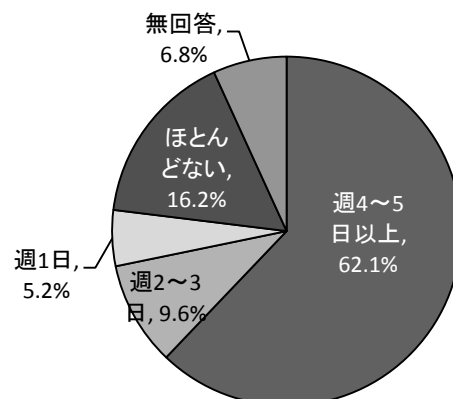
問2 あなたは、ふだん朝食を食べますか。

	人数	割合
ほとんど毎日食べる	401	91.1%
週2~3回食べないことがある	20	4.5%
週4~5回食べないことがある	5	1.1%
ほとんど食べない	14	3.2%
無回答	0	0.0%
計	440	100.0%

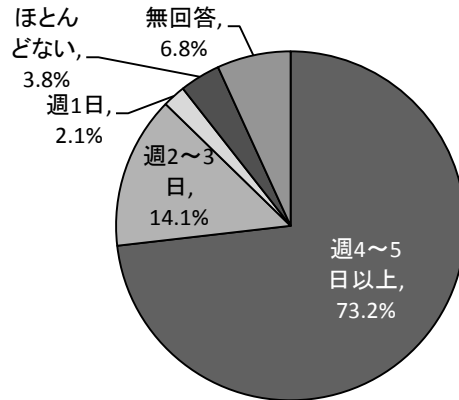


問3 (問1で「2人」~「6人以上」と答えた方) 回答者 425人
あなたは、ふだん家族と一緒に食事をするのがどれくらいありますか。

朝食	回答数	割合
週4~5日以上	264	62.1%
週2~3日	41	9.6%
週1日	22	5.2%
ほとんどない	69	16.2%
無回答	29	6.8%
計	425	-

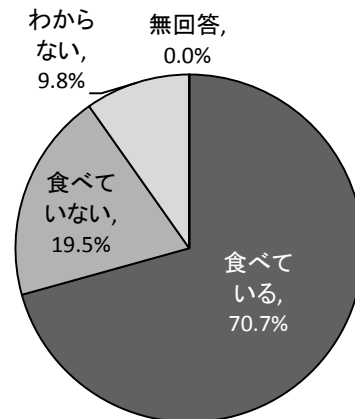


夕食	回答数	割合
週4～5日以上	311	73.2%
週2～3日	60	14.1%
週1日	9	2.1%
ほとんどない	16	3.8%
無回答	29	6.8%
計	425	-



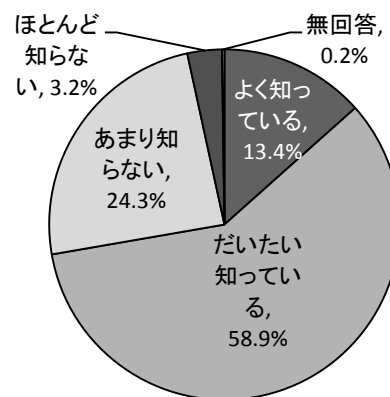
問4 あなたは、ふだんの食生活において、よく噛んで、味わって食べていますか。

	人数	割合
食べている	311	70.7%
食べていない	86	19.5%
わからない	43	9.8%
無回答	0	0.0%
計	440	100.0%



問5 あなたは、自分の身体のために何をどれくらい食べると良いか知っていますか。

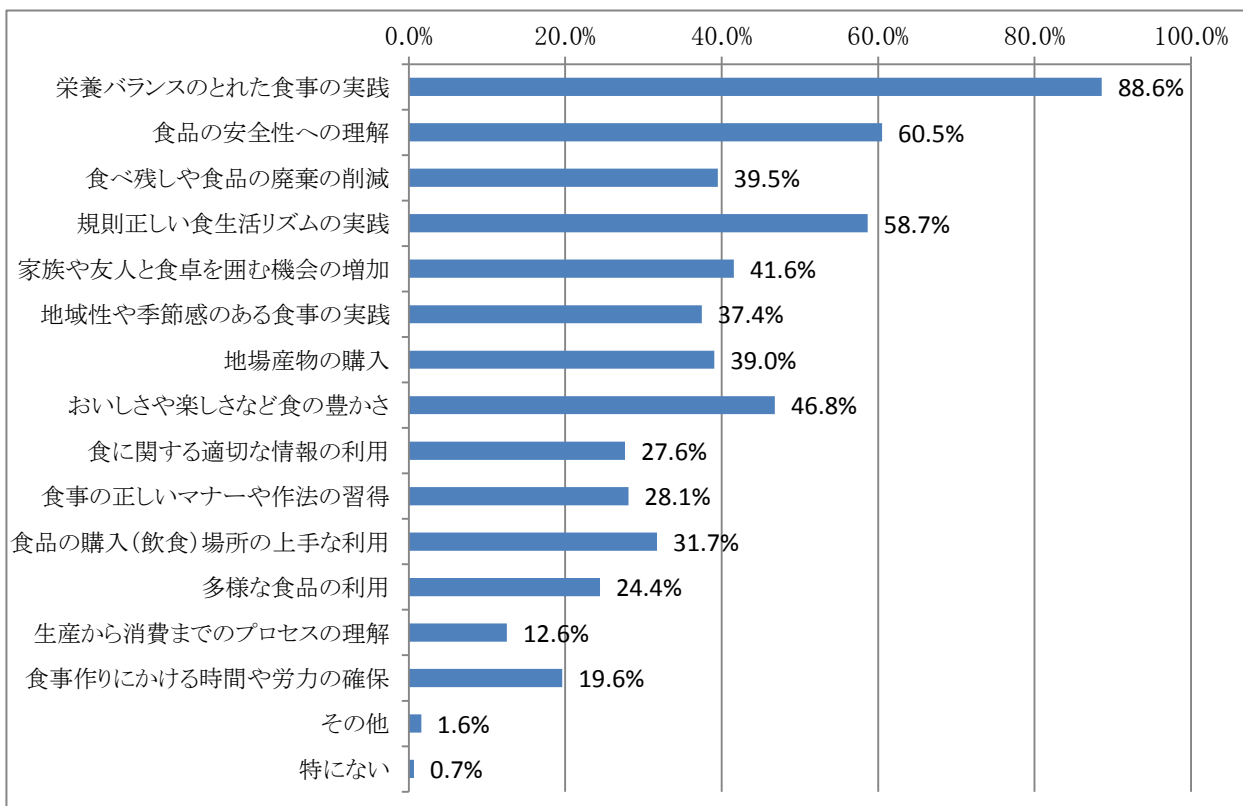
	人数	割合
よく知っている	59	13.4%
だいたい知っている	259	58.9%
あまり知らない	107	24.3%
ほとんど知らない	14	3.2%
無回答	1	0.2%
計	440	100.0%



問6 あなたは今後の食生活で、特にどのような面に力を入れたいと思いますか。
次の中からあてはまるものをすべてあげてください。(複数回答)

回答者 438 人

	回答数	割合
栄養バランスのとれた食事の実践	388	88.6%
食品の安全性への理解	265	60.5%
食べ残しや食品の廃棄の削減	173	39.5%
規則正しい食生活リズムの実践	257	58.7%
家族や友人と食卓を囲む機会の増加	182	41.6%
地域性や季節感のある食事の実践	164	37.4%
地場産物の購入	171	39.0%
おいしさや楽しさなど食の豊かさ	205	46.8%
食に関する適切な情報の利用	121	27.6%
食事の正しいマナーや作法の習得	123	28.1%
食品の購入(飲食)場所の上手な利用	139	31.7%
多様な食品の利用	107	24.4%
生産から消費までのプロセスの理解	55	12.6%
食事作りにかかる時間や労力の確保	86	19.6%
その他	7	1.6%
特にない	3	0.7%
計	2,446	-

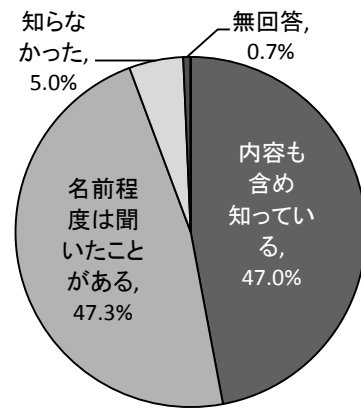


※その他のうち主なもの

- ・食物の命をいただく感謝
- ・季節や体調に合わせた食事の提供、食品管理
- ・わが家の味の子どもへの伝承

問7 あなたは「食育」という言葉を知っていますか。

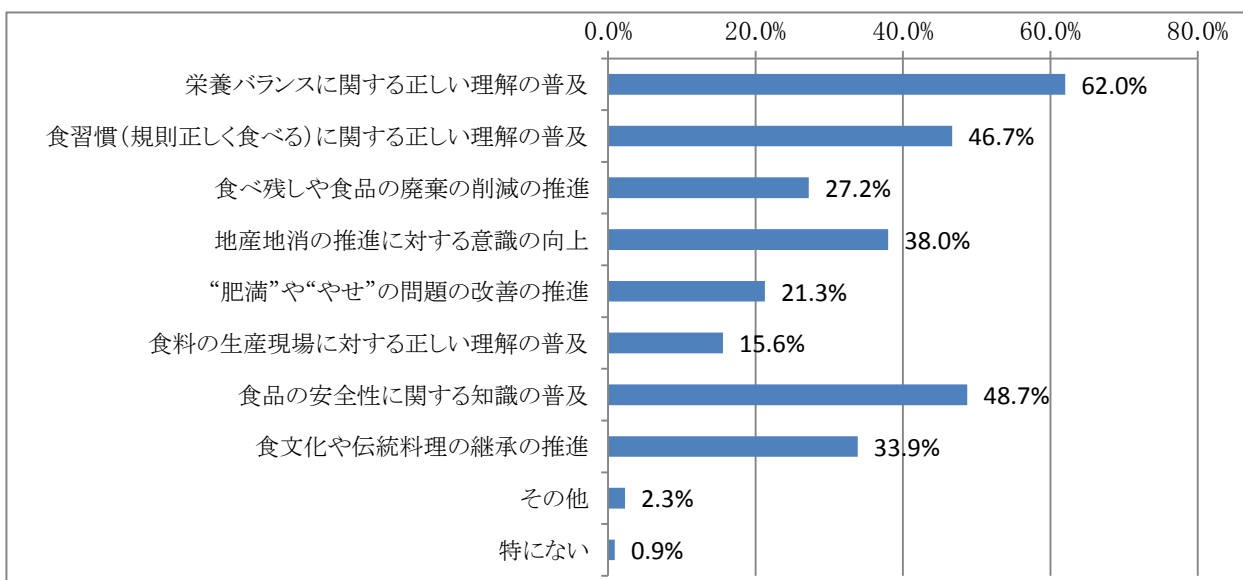
	人数	割合
内容も含め知っている	207	47.0%
名前程度は聞いたことがある	208	47.3%
知らなかった	22	5.0%
無回答	3	0.7%
計	440	100.0%



問8 「食育」を進める上で、県としてどのような取り組みが大切だと思いますか。次の中から、特に大切だと思われるものを3つまであげてください。(複数回答)

回答者 437 人

	回答数	割合
栄養バランスに関する正しい理解の普及	271	62.0%
食習慣(規則正しく食べる)に関する正しい理解の普及	204	46.7%
食べ残しや食品の廃棄の削減の推進	119	27.2%
地産地消の推進に対する意識の向上	166	38.0%
“肥満”や“やせ”の問題の改善の推進	93	21.3%
食料の生産現場に対する正しい理解の普及	68	15.6%
食品の安全性に関する知識の普及	213	48.7%
食文化や伝統料理の継承の推進	148	33.9%
その他	10	2.3%
特にない	4	0.9%
計	1,296	-

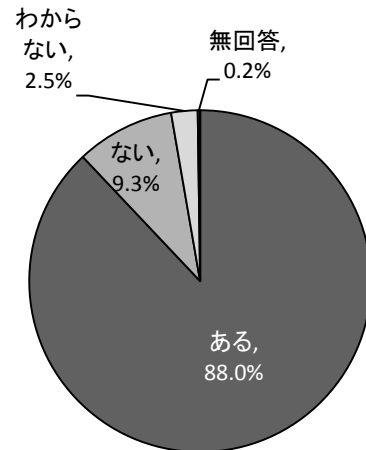


※その他のうち主なもの

- ・家族でおかずを作りあったり、話したりできればよい。
- ・食品に対する好き嫌いをなくす。

問9 あなたは、レストランなどの飲食店、スーパーなどの食品売場、職場や学校の食堂などで、食品や料理の栄養成分表示（エネルギー・塩分など）を見たことがありますか。

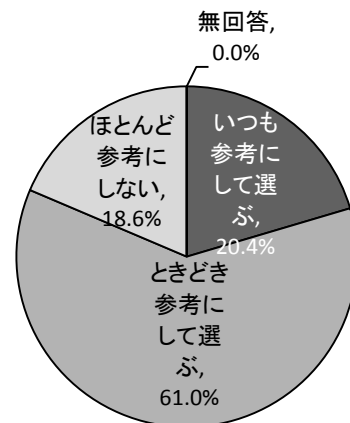
	人数	割合
ある	387	88.0%
ない	41	9.3%
わからない	11	2.5%
無回答	1	0.2%
計	440	100.0%



問10 （問9で「ある」と答えた方）
栄養成分表示を参考にしてメニューを選びますか。

回答者 387 人

	回答数	割合
いつも参考にして選ぶ	79	20.4%
ときどき参考にして選ぶ	236	61.0%
ほとんど参考にしない	72	18.6%
無回答	0	0.0%
計	387	-



問11 その他、食生活に関してのご意見や県へのご要望などがありましたらお聞かせください。（主な意見）

○食の安全性

- ・食品偽装、異物混入など、生産者や販売者への検査を徹底し、安全を確保してほしい。
- ・食品の放射性物質や添加物など、体に与える影響について情報発信してほしい。
- ・農作業体験を通して、安全な食の意識を高めると良い。
- ・表示等を確認しなくても安心して食べたい。

○ 地産地消

- ・直売所で地元の新鮮な野菜が買えるようになりましたが、近くのスーパーなどでは、岐阜県産の野菜が少ないと思います。
- ・輸入食品に頼らない自給率の高くなるための政策をすべきだと思う。
- ・生鮮野菜の形の不揃いなものでもスーパー等で率先して販売するようにしてほしい。
- ・幼稚園、保育所、学校給食でもっと地元の野菜等を使ってほしい。

○ 家庭・学校

- ・子どもたちに、地元の野菜や旬を大切にすることを伝えてほしい。
- ・子どもが学校で旬の食物や食文化、食事のマナー等、習ったことを教えてくれる。以前は家庭で教えていたことですが、今は薄れていて、親の勉強にもなります。学校での食育は大切だと思います。
- ・学校給食で残飯が出ないような献立の工夫をしてほしい。
- ・幼児期や学齢期に食べ物の大切さや正しい食生活について教えることは、生涯全般の食生活に影響するので、幼稚園、保育所、小中学校で食育の推進をしてほしい。
- ・家族そろっての食事は大切だとは思いますが、仕事等で生活時間が違うため難しくなっているため、食に対する意識も低下している。
- ・学校でも食品の安全性を考える授業を行ってほしい。

○ 食と健康

- ・若い女性の”やせ”が気になります。若い人が集まるスポーツ競技場や駅等で朝食を食べることなどの広報をしてはどうか。
- ・生活習慣病を予防するため、健康診断の時に食育のパンフレットを配布してはどうか。
- ・県民の食育意識をさらに向上させるような講習会や体験学習会、親子で参加できるイベント等があると良い。
- ・レストランや食堂では栄養成分表示がないところも多いので、増えると良い。